

はじめに

この本を手に取ってくださった皆さまへ。

はじめまして。私は台湾人の母を持つ、台湾生まれ日本育ちの日本人です。このようにお伝えすると、ほとんどの方が「ああ、だから中国語が話せるんですね！」と納得されたような表情でうなずかれます。ですが、…ごめんなさい。実は、母が台湾人だからといって、中国語が自然と話せるわけではなかったのです。

2歳から日本で育ち、日本語ネイティブとして生活してきた私にとって、中国語は“高い壁”でした。漢字を読めず、台湾の街中でも看板やメニューはチンプンカンプン。かろうじて知っている単語を発音しても、これがまた通じない！「子どもが話しているみたい」と、親戚に笑われたことすらあります(もちろん、彼らに悪意はありません。愛嬌だね、と笑ってくれていたのです)。

そんな私が今では、中国のホテルで「本当に日本人？」とパスポートを確認されるほどに発音が上達し、ビジネスでもプライベートでも中国語を活かせるようになったのは、まさに、「ピンイン」と「タイピング」という学習方法のおかげでした。

「ピンインってなに？」「タイピングって、なんだかめんどくさそう…」もしそう感じているなら、ちょっと待って！

今や、スマホやパソコンでやり取りするのが当たり前の時代です。中国でもチャットやメールが日常になっています。現地の友人ができたら、「文通しましょう」ではなく、「LINE(またはWeChat)やってる？」「番号交換しよ！」という流れになりますよね。

私が学生時代に中国の友人と文通していたのは、もう 20 年以上前の話。当時はパソコンによって中国語対応と非対応があり、中国語を打てないことがあったからです。

時代は変わりました。

今やどのスマホやパソコンからでも簡単に中国語入力ができるようになり、情報のやりとりはよりスピーディに、効率的に進めるのが当たり前になりました。この本では、ツアーコンダクター、日中貿易、講師として活動してきた中国語学士の私が、25 年間続けてきた中国語学習の中で「今こそ必要な、実用的な中国語学習法」をお伝えします。

「タイピングで学ぶ中国語ってなんだろう？」と思っているあなたにも、「私にもできた！」「もっと学びたい！」そして「中国に行ってみたい！」そんなふうに変わっていけるよう、今この本を手に取っているその背中を、少しでも押すことができたら嬉しいです。

増田文香